

和良の郷だより

鮎友釣り教室開催



釣りあげた鮎を片手に笑顔を見せる参加者

初めての鮎友釣りを応援

鮎友釣り最盛期の8月。和良では小中学生や友釣り初心者対象の鮎釣り教室が行われました。参加した小学生から大人の初心者はベテランの釣り入らの手ほどきを受けながら、和良川での鮎釣りを楽しみました。

8月6日(木)、郡上

東中学1年生のふるさと

学習のひとつで、鮎釣り

教室が開催されました。

郡上東中学校では、毎年

1年生が鮎釣りを体験し

ています。和良川漁業協

同組合の名人たちが講師

となり、子どもたちに鮎

釣りを伝授します。この

日に釣り上げた14匹の鮎

は、和良鮎を守る会に買

取っていただき、今後の

和良鮎も今年はこれよ

にかかります。

幻想的な伝統の風景

暗くなつてから棒の先に付いた松明に灯りをとも

川では、伝統的な漁である「火振り漁」が毎年行われ、和良川漁業協同組合の漁師さんたちが、それらの場所で夕方に集まり、川に網を張りました。驚いた鮎が泳ぐうちに網

には小中学生を対象に、和良川を守る会と和良川漁業協同組合とが共催する「和良鮎友釣り教室」が開催されました。参加された子どもたちは例年より多い24名で、小学校高学年と中学生は鮎釣りに挑戦し、低学年は魚釣りや雑学とりなどに挑戦しました。

この日は涼しくて、川の水は冷たさを感じるくらいでしたが、魚釣りに挑戦する子どもたちは餌となるガイムシ(クロカラムシ)を確保するために元気に水中へ向かいます。高学年の子供たちは地元鮎釣り名人に連れられて鮎釣りにとりかかれました。この日は一人

ナ禍にあって、どこにも出かけられなくて寂しい思いをしている子ども達もあります。そんなときは、安全に気を付け、和良川でめいっぱい遊んでほしいと思います。

8月21日(金)、25日(火)には和良おこし協議会主催で初心者向けの鮎釣り教室が行われました。当初7月に予定していた。専用区には8月3日幼稚園放流もさ



(松明の明かりが水面を走る様子)

てありますので、9月10日(木)まで十分に楽しんでいただけます。専用区には8月3日幼稚園放流もさ

り最終章を迎えるが、和良川の鮎友釣りはまだまだ楽しむことが出来ます。詳細などはお問い合わせください。

鈴虫号
和良おこし
協議会発行
あわらし
協議会

クラスの活動費となる様です。
翌日の8月7日(金)

には小中学生を対象に、和良川を守る会と和良川漁業協同組合とが共催する「和良鮎友釣り教室」が開催されました。参加してくれた子どもたちは例年より多い24名で、小学校高学年と中学生は鮎釣りに挑戦し、低学年は魚釣りや雑学とりなどに挑戦しました。

この日は涼しくて、川の水は冷たさを感じるくらいでしたが、魚釣りに挑戦する子どもたちは餌となるガイムシ(クロカラムシ)を確保するため

に元気に水中へ向かいます。高学年の子供たちは地元鮎釣り名人に連れられて鮎釣りにとりかかれました。この日は一人

ナ禍にあって、どこにも出かけられなくて寂しい

思いをしている子ども達

もあります。そんなとき

は、安全に気を付け、和良川でめいっぱい遊んで

ほしいと思います。

8月21日(金)、25日(火)には和良おこし協

議会主催で初心者向けの

鮎釣り教室が行われまし

た。当初7月に予定して

いました。

向井先生からはさこの歴史や

生態についてのお話を

いたあと、早速はさこを探

しに和良川に向けて出発

しました。

渴水のため、はさこ達は普段いるところでは見つからず

午前の部では少し焦りましたが、

あるところに大集合しているの

を見つけることができました。

午後の部とはさこを見つけるこ

とができ、任務完遂でしたが、

終了後はさすがにスタッフには

疲れがみえ、施設ではさこ

になっていました。

はさこ探検隊

8月開催イベント 振り返り

として、落語家の柳家さん生師匠をお迎えする予定です。きっと楽しいモノになると想いますので、どうぞ期待ください。



8月は「鮎釣り教室」、「はまじ探検隊」以外にも各種イベントが開催されました。ここではそのイベントの様子をご紹介します。まず、1日に「真夏の夜の夢音楽会」が、そして4日にはろうけつ染め体験教室が「わらおこし」で開催されました。コロナ禍のなか、感染症対策を実施しながらの開催でしたが、参加者の方々がそれぞれのイベントを楽しんでいる様子が伺えました。

8月1日（土曜日）は、富安秀行さん、ほりおみわさん、照喜名俊典さんをお迎えして、真夏の夜の夢音楽会を開催しました。

今回、和良に初登場のほりおみわさんは、ギル語で歌うケルト音楽をアカペラで披露いただき、その時の神秘的な空間に魅了されました。また、いつもの富安節も絶好調で、その場の雰囲気を柔軟に仕上げてくれます。照喜名さんの世界に一つしかないユーフォニアムも、その姿の美しさと、3人のハーモニクスが引き立ちます。富安さんの歌も、ハーモニーも加わっていつもと少し違った楽しさを醸し出していました。

富安さんが作った「新田舎物語～いい塩梅の田舎で暮らそう～」も、みんなで盛り上がって歌いました。わかりやすくふると表現した歌詞と軽快なリズムで、和良の夜の締めくくりは絶好でした。

次回の富安さんの登場は11月の予定。これも毎年恒例となる「夢の寄せ鍋音楽会」ですが、今年は少し趣向を変えて「夢の寄せ鍋演芸会」



(息のあったハーモニーを奏でる富安さん、照喜名さん、ほりおさん)

ろうけつ染め体験教室

和良で楽しむものづくり



(熱心に作品づくりに取り組む参加者達)



布を染める際には最終的に表れる色を想像しながら行わなければなりませんが、岡田先生の的確なアドバイスにより安心して進めることができます。今回も素敵な作品が10点出来ました。岡田先生が作品を持ち帰って、脱漏の後に送っていただきます。みなさんの作品が到着するのを楽しみに待ちたいと思います。

ある様で筆運びもスムーズです。ろうけつ染めは、蟬結染、蟬繕染などとも表現されますが、多くの方は蟬を乾燥させてひび割れを発生させて、独特の亀裂模様を想われるのではないかでしょう。現在こちらでも体験いただいてるろうけつ染めの手法は、少し異なります。まず、布に書かれた下絵の上に溶かした蟬を筆で塗ります。次に染料でその布を染色していくきます。複数の色を使って染める場合は、この作業を繰り返していき、最後に蟬を落とし完成となります。

イベント掲示板

無料オンラインセミナー
「地域づくりを考える
～農村地理学者からのアプローチ～」
★9月22日(祝・火)
★13:30～16:00
★林琢也 講師(北海道大学准教授)
★参加費無料
詳細は0575-77-2277まで

ちえのお灸据えます
9月16日、23日
ちえのストレッチ
9月24日
詳細は080-1553-8887
(橋本ちえ)まで

和良町の人口 令和2年8月1日現在

